

キヤノン カラーラベルプリンター LX-D5500

HWB Piece No. 対応手順書

本冊子について

本冊子はキヤノン カラーラベルプリンター LX-D5500 にて航空貨物ラベルを作成している環境にて、Secondary barcode に HWB Piece No. を印刷する際にお読みいただく操作説明書です。

なお、対象機器はキヤノン カラーラベルプリンター LX-D5500 のみをサポートしています。旧機種である LX 760 には対応しておりません。

対応ソフトウェア

本作業を行うことで、HWB Piece No.に対応させることのできるソフトウェアは「Cargo Label Plus for LX-D5500」です。パッケージソフトウェアである「航空貨物ラベル作成 for LX-D5500」は 2017 年 3 月 13 日時点で未対応です。

作業の手順

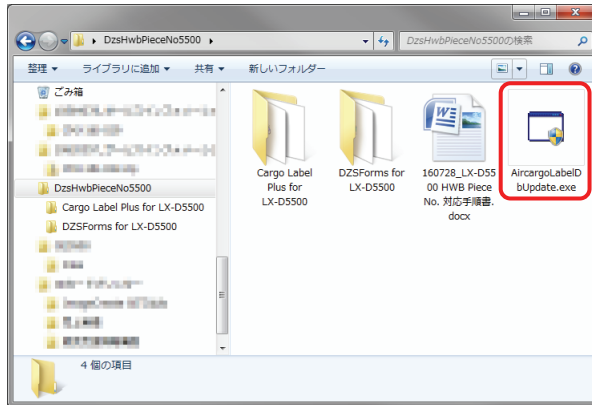
導入作業は以下の 3 手順で行います。

- 手順1. データベースファイルアップデイトツールの実行
- 手順2. Cargo Label Plus for LX-D5500 のセットアップ
- 手順3. DHL グローバルフォワーディング様 セットアップスクリプトの実行

1. データベースファイルアップデイトツールの実行

ソフトウェアが使用するデータベースを HWB Piece No. に対応させるため、データベースデザインの更新を行います。

- 1) AircargoLabelDbUpdate.exe をダブルクリックします。

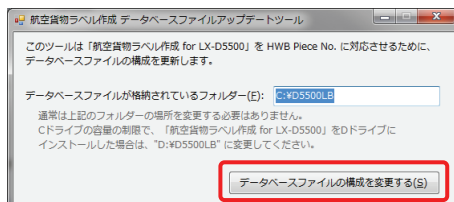


下記画面が表示した場合は、[はい(Y)]をクリックします。

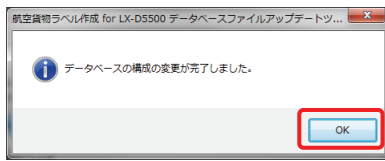


- 2) [航空貨物ラベル データベースファイルアップデイトツール]画面が表示されましたら、[データベースファイルの構成を変更する(S)]をクリックします。

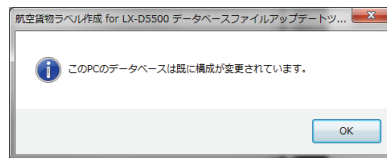
データベースファイルが格納されているフォルダーが「C:¥D5500LB」以外の場合は、正しいパスを指定してください。ただしほとんどの場合、変更する必要はありません。



- 3) 「データベースの校正の変更が完了しました」と表示されたら、完了です。[OK] をクリックします。



下記画面が表示した場合は、すでにアップデートが完了しています。[OK]をクリックして、次のステップに進んでください。



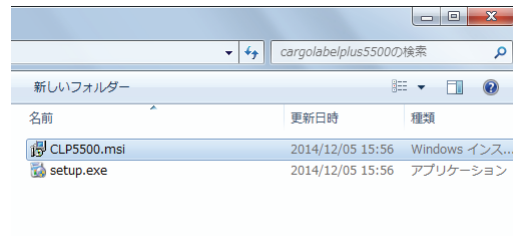
以上で、データベースファイルアップデートツールの実行は終了です。

2. Cargo Label Plus for LX-D5500 のセットアップ

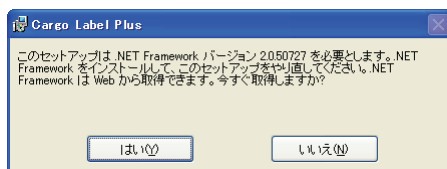
Cargo Label Plus for LX-D5500 のセットアップを行います。

1) インストーラーを実行します。

Cargo Label Plus for LX-D5500 フォルダの CLP5500.msi をダブルクリックし、インストーラーを実行します。



インストーラーを実行後、次の画面が表示される場合は Cargo Label Plus のインストールの前に Microsoft® .NET Framework (ドットネット フレームワーク) をインストールする必要があります。



この画面が表示されたら[はい(Y)]をクリックし、.NET Framework を Web からダウンロードして、インストールを行ってください。

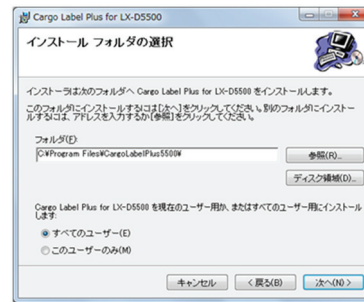
2) Cargo Label Plus for LX-D5500 セットアップ ウィザードが始まります。

[次へ(N)]をクリックしてください。



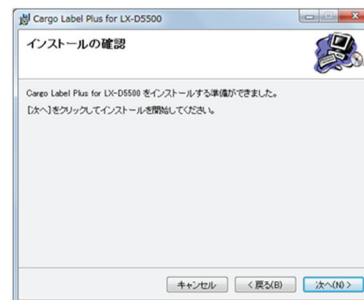
3) インストールフォルダの選択画面が表示します。

インストールするフォルダを指定し、[次へ(N)]をクリックしてください。



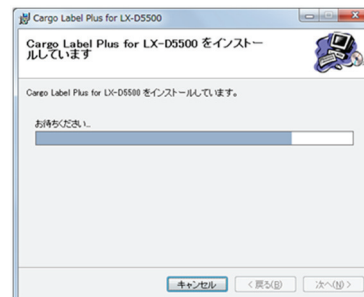
4) インストールの確認画面が表示します。

設定した内容でインストールを開始します。よろしければ[次へ(N)]をクリックしてください。設定を変更する場合は[戻る(B)]をクリックし、設定をし直してください。



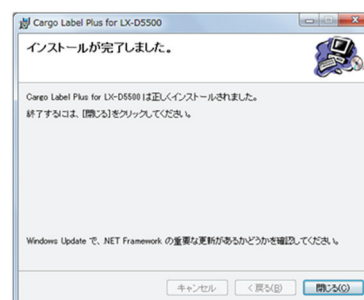
5) インストールが行われます。

しばらくお待ちください。



6) インストールの完了です。

下記画面が表示されたら、インストールは完了です。[閉じる(C)]をクリックしてください。

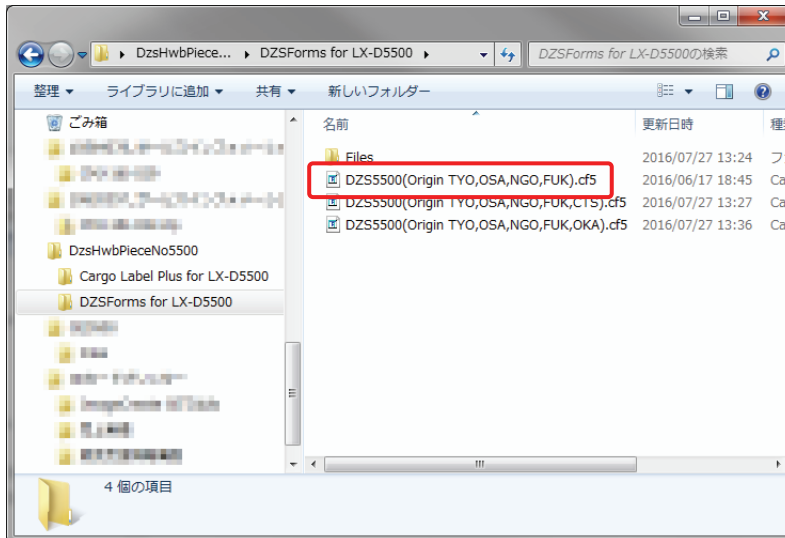


以上で、Cargo Label Plus for LX-D5500 のセットアップは終了です。

3. DHL グローバルフォワーディングジャパン様 セットアップスクリプトの実行

セットアップスクリプトを実行し、DHL グローバルフォワーディングジャパン様のフォームファイルのコピーとラベル出力の設定を行います。

- 1) DZSForms for LX-D5500 フォルダをクリックします。
- 2) DZS5500(Origin TYO,OSA,NGO,FUK).cf5 をダブルクリックします。

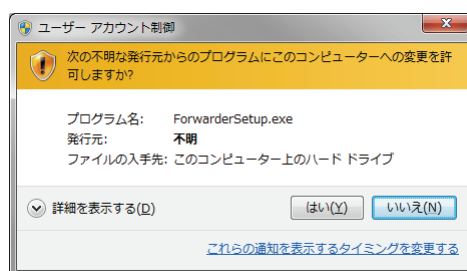


DZS5500(Origin TYO,OSA,NGO,FUK).cf5 をダブルクリックしたときに登録される Origin は TYO/OSA/NGO/FUK の 4 種類です。

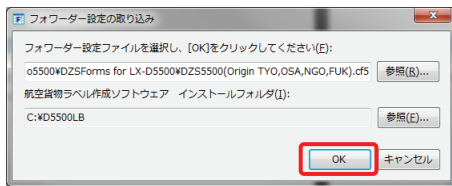
CTS も必要な場合は、DZS5500(Origin TYO,OSA,NGO,FUK,CTS).cf5 を
OKA も必要な場合は、DZS5500(Origin TYO,OSA,NGO,FUK,OKA).cf5 を
ダブルクリックしてください。



下記画面が表示した場合は、[はい(Y)]をクリックします。

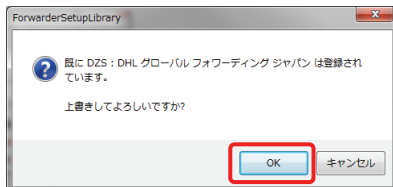


- 3) [フォワーダー設定の取り込み]画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

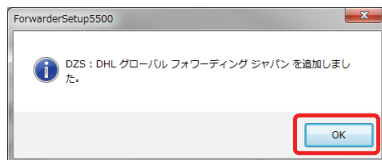


- 4) 下記の画面が表示されたら、[OK]をクリックします。

表示されない場合もあります。



- 5) 下記の画面が表示されたら、[OK]をクリックします。



以上で、DHL グローバルフォワーディングジャパン様 セットアップスクリプトの実行は終了です。

この後は Cargo Label Plus for LX-D5500 からラベルを発行し、Secondary barcode に HWB Piece No.が印刷されているかご確認ください。

Cargo Label Plus for LX-D5500 のご使用方法は Cargo Label Plus for LX-D5500 フォルダにある「Cargo Label Plus for LX-D5500 ユーザーズガイド」をご覧ください。